

## 実践Ⅰ～Ⅲ 模擬授業 自己点検 評価シート

模擬授業日： \_\_\_\_\_ 模擬授業箇所： \_\_\_\_\_ 受講生番号： \_\_\_\_\_ 名前： \_\_\_\_\_

評価項目	5	4	3	2	1
<b>授業目標 時間配分</b>	授業目標が明確で、目標達成につながる活動が準備できた。時間配分も最適だった。	授業目標は明確だったが、目標につながる準備はやや足りなかった。時間配分もやや改善が必要だ。	授業目標がやや曖昧で、一部の目標と合致しない活動になっていた。または時間配分に問題があった。	授業目標が不明確で、多くの活動が目標と適合していなかった。または時間配分に大きな目標があった。	授業目標が設定されておらず、活動の整合性がない。授業計画が全体的に不十分だった。
<b>学習者との インタラクション</b>	指示が明確に出せて、学習者は容易に理解できた。学習者の反応に迅速かつ適切に対応できた。	指示は明確に出せて、学習者はおおむね理解ができた。学習者の反応への対応はおおむねできた。	指示が一部曖昧だったため、学習者の理解に時間がかかった。または学習者の反応への対応が一部対応できなかった。	指示が不十分で、学習者が理解できない部分があった。または学習者の反応にも対応できなかった。	指示が不明確で、学習者が全く理解できなかった。また学習者の反応に対しても対応できなかった。
<b>教材と教具の活用</b>	教材・教具の量・内容が適切で、使用も効果的に使用することができた。	教材・教具の量または内容に一部改善の余地があるが、学習者の学びを支援するのに役立った。	教材・教具の量・内容に改善の余地があり、一部学習者の学びを支援するものではなかった。	教材・教具の量・内容が適切ではなく、または効果的に使用できない場面が多かった。	教材・教具が準備されていない。または効果的に使用されている場面がまったくなかった。
<b>言語運用能力</b>	学習者のレベルを理解し発話することができた。学習者の理解を助けることができた。	学習者のレベルを理解し発話しようとしていたが、一部改善の余地ある。	自身の発話に若干の誤りや不明瞭な部分があった。または学習者のレベルに合わない発話を多くしてしまった。	自身の発話に誤りや不明瞭な部分があり、学習者が混乱する場面が多かった。または学習者のレベルに合わせず話してしまった。	自身の日本語が不正確で、不明瞭だった。または学習者に向けて発話していることを全く想定できていなかった。
<b>教授技術</b>	活動をスムーズに進行することができ、学習者を積極的に参加させることができた。また予期せぬ状況にも柔軟に対応できた。	活動を概ねスムーズに進行することができ、ほとんどの学習者は参加できた。または予期せぬ状況にも対応できた。しかし一部改善の余地がある。	活動の進行が一部スムーズにいかず、学習者の参加も不均一だった。または予期せぬ状況への対応が不足していた。	活動の進行が滞り、多くの学習者が十分に参加できなかった。予期せぬ状況への対応できなかった。	活動の進行ができず、学習者が全く参加できなかった。また予期せぬ状況への対応をしようにしなかった。
<b>学習者の理解度</b>	学習者に対する質問や学習者の反応を通じて、理解度を適切に確認し、目標達成が確信できた。	学習者に対する質問や学習者の反応を通じて、学習者の理解度を確認し、目標達成が概ね確認できた。	学習者の理解度の確認が一部不十分で、目標達成が十分に測れなかった。	学習者の理解度の確認がほとんどできず、目標達成も確認できなかった。	学習者の理解度の確認が全くできず、目標達成も全くできなかった。

次の模擬授業（教壇実習）の目標